



<https://japanlinkcenter.org/>

Japan Link Center (JaLC) リリース概要

2022年1月26日

ジャパンリンクセンター事務局

リリースの目的

JaLCでは、DOIに関するサービスを基幹としつつ、研究に関わる他のIDサービスとの連携により、より良い研究インフラ整備への貢献を目指しています。ファンドや研究者、機関等、DOIとは異なるコンテンツを対象としたIDとの連携により、様々な視点から研究成果の検索が可能となります。

この度、上記を踏まえ、JaLCに登録できるメタデータを拡充し、著者・作成者・寄与者の所属機関に関する機関ID（ROR、ISNIなど）や助成情報に関するID（助成機関IDの複数登録や助成番号タイプ（GRANT_DOI））を登録できるように改修いたしました。

併せて、DataCiteへ登録するメタデータの拡充等の改修を実施いたしました。

リリース概要

■ リリース日 : 2022年1月26日(水)

■ リリース概要 :

1 JaLC登録スキーマの拡充

①所属機関IDを登録できるようになりました。

②助成情報の登録方法が変わりました。

③研究データを中心に、各種属性値が増えました。

※登録スキーマに変更がありますが、従来の形でも登録できます。

2 DataCite への登録データ拡充

JaLCからDataCiteにDOI登録する際のメタデータを拡充しました。

3 その他の改善

1 JaLC登録スキーマの拡充：所属機関ID

著者、作成者、寄与者の所属機関について、所属機関IDを登録できるようになりました。

登録例

```
<affiliations>
  <affiliation sequence="1">
    <affiliation_name lang="ja">科学技術振興機構</affiliation_name>
    <affiliation_name lang="en">Japan Science and Technology Agency</affiliation_name>
    <affiliation_identifier type="ROR" scheme_uri="https://ror.org">https://ror.org/00097mb19</affiliation_identifier>
    <affiliation_identifier type="ISNI" scheme_uri="https://isni.oclc.org/">0000000417549200</affiliation_identifier>
  </affiliation>
</affiliations>
```

- 新設のaffiliations要素を使用することで、所属機関名と複数の機関IDを登録することができます。
- 機関IDはROR、ISNI、NID (NISTEP 機関 ID) 等の選択肢から、複数タイプを選択して登録できます。
- RORの場合は「https://ror.org」、ISNIの場合は「https://isni.oclc.org/」等、機関IDのURIをscheme_uriに指定することを推奨します。

1 JaLC登録スキーマの拡充：助成情報①

従来、助成番号は助成機関内でのみ有効な識別子でしたが、国際的なPID（Persistent Identifier）としてDOI形式の助成番号（Grant DOIと表記）を付ける動きが進み始めています。

JaLCでは、助成機関が付けた従来の助成番号とGrant DOIをまとめて「助成番号グループ」とすることとし、award_number_group要素を新設しました。下記のように、まとめて登録します。

```
<award_number_group>  
  <award_number type="GRANT_DOI">10.XXXXXX/award_number123</award_number>  
  <award_number>JPXXXXXX123</award_number>  
</award_number_group>
```

- ・ Grant DOIを登録する場合には、type属性に「GRANT_DOI」を指定してください。
- ・ 助成番号が1件の場合は、award_number_group要素を使わずに、従来の形で登録することも可能です。

1 JaLC登録スキーマの拡充：助成情報②

助成機関IDも複数登録できるようになりました。例えば、JSTからの助成を受けた場合、下記のような形でRORとFundRefの両方を登録できます。

```
<fund>
  <funder_name lang="en">Japan Science and Tchnology Agency</funder_name>
  <funder_identifier type="ROR">https://ror.org/00097mb19</funder_identifier>
  <funder_identifier type="FundRef">http://dx.doi.org/10.13039/501100002241</funder_identifier>
  <award_number_group>
    <award_number type="GRANT_DOI">10.XXXXXX/award_number123</award_number>
  </award_number_group>
  <award_number_group>
    <award_number type="GRANT_DOI">10.XXXXXX/award_number456</award_number>
    <award_number>JPXXXXXX456</award_number>
  </award_number_group>
</fund>
```

- ・ Crossrefに助成情報を登録するためには、FundRefの登録が必要です。また、複数の助成機関IDが登録されても、FundRefのみが登録されます。
- ・ 助成機関IDをJaLCに複数登録した場合でも、DataCiteに登録されるのは1件のみです。その際に、RORが最優先となります。

1 JaLC登録スキーマの拡充：助成情報③

登録時に助成番号グループを指定せず、助成番号単体で登録しても、自動的にグループ化され、画面上では下記のように表示されます。

```
<fund>
  <funder_name lang="ja">科学技術振興機構</funder_name>
  <funder_identifier type="FundRef">http://dx.doi.org/10.13039/501100002241</funder_identifier>
  <award_number> award_TEST_1</award_number>
</fund>
```

画面イメージ

ファンド情報

1 助成機関名称	:	科学技術振興機構
助成機関名称記述言語	:	日本語
助成機関ID	:	
1 助成機関ID	:	http://dx.doi.org/10.13039/501100002241
助成機関IDタイプ	:	FundRef
助成番号	:	
助成番号グループ1	:	
1 助成番号	:	award_TEST_1
助成番号タイプ	:	

1 JaLC登録スキーマの拡充：助成情報④

1つの助成機関から複数の研究助成を受けている場合の登録方法の変更をお願いいたします。

助成番号として「awardNO1」と「awardNO2」があった場合、これまでは下記のようにパイプを入れて連結した状態で登録することを推奨しておりました。

```
<fund>
  <funder_name lang="en">Japan Science and Tchnology Agency</funder_name>
  <funder_identifier type="FundRef">http://dx.doi.org/10.13039/501100002241</funder_identifier>
  <award_number> awardNO1| awardNO2 </award_number>
</fund>
```

今後は、award_number_group要素を使用して1件ずつ登録していただくように変更をお願いいたします。このことにより、助成番号を検索しやすくし、研究助成の成果を把握しやすくすることを目指しています。

```
<fund>
  <funder_name lang="en">Japan Science and Tchnology Agency</funder_name>
  <funder_identifier type="FundRef">http://dx.doi.org/10.13039/501100002241</funder_identifier>
  <award_number_group>
    <award_number> awardNO1 </award_number>
  </award_number_group>
  <award_number_group>
    <award_number> awardNO2</award_number>
  </award_number_group>
</fund>
```


1 JaLC登録スキーマの拡充：属性値追加

<全コンテンツ区分共通>

- ①助成機関IDタイプ (fund->funder_identifier->type)
ROR, NID, WIKIDATA, RINGGOLDが追加されました
- ②所属機関IDタイプ (affiliation->affiliation_identifier->type) 【新設】
FundRef, GRID, ISNI, ROR, NID, WIKIDATA, RINGGOLD, Otherが指定できます

<研究データのみ>

- ①関連するコンテンツのタイプ (related_content->type)
ARK, arXiv, bibcode, EAN13, EISSN, Handle, IGSN, ISTC, LISSN, LSID, PMID, PURL, UPC, URN, w3id が追加されました
- ②リソースのタイプ (resource_type->type)
DataPaperが追加されました
- ③日付の種類 (date->type)
Withdrawnが追加されました

※詳しくは、下記をご参照ください。

コード表

https://japanlinkcenter.org/top/doc/JaLC_tech_interface_attachment3.pdf

2 DataCite への登録データ拡充①

DataCiteのDOIで登録された研究データについては、JaLCからDataCiteに登録するメタデータを拡充します。また、DataCite登録時に使用するメタデータスキーマを4.4（※）に変更しました（4.4完全準拠ではありません）。

（※） DataCite MetaData Schema 4.4

<https://schema.datacite.org/meta/kernel-4.4/>

(1)作成者、寄与者の所属機関情報として、下記属性の値を登録します

- affiliationIdentifier
- affiliationIdentifierScheme
- schemeURI

(2)登録する作成者、寄与者の研究者IDの対象を拡充しました

- これまでは、ORCIDのみを登録していましたが、それ以外の研究者IDも登録します。

(3)登録する作成者、寄与者の名前の属性を拡充しました

- 名前の言語属性を登録します。
- JaLCへの登録時にtypeとしてperson/instituteが登録されている場合には、それぞれ、Personal/Organizationalとして登録します。

2 DataCite への登録データ拡充②

(4)登録する出版者の属性を拡充しました

- ・ 出版者名の言語属性を登録します。

(5)登録する助成機関IDを拡充しました

- ・ 助成機関IDタイプとしてRORが登録された場合は、funderIdentifierTypeとして「ROR」を設定してDataCiteに登録します。登録する助成機関IDタイプはRORが最優先となります。
- ・ 助成機関IDタイプとしてNID, WIKIDATA, RINGGOLDが登録された場合は、「Other」を設定してDataCiteに登録します。

(6)その他、登録する統制語を拡充しました

- ・ 「[JaLC登録スキーマの拡充：属性値追加](#)」のページで追加を説明した下記の値については、DataCiteへも登録します。
 - 関連するコンテンツタイプ
 - リソースのタイプ
 - 日付の種類
- ・ 「関連するコンテンツとの関係性」 (related_content->relation) について、下記の値を登録対象とします。
 - IsObsoletedBy, Obsoletes, IsPublishedIn

3 その他の改善等

(1)連続したスラッシュ"/"を含むDOI名の処理について

一部の処理で、連続したスラッシュ"/"を含むDOI名について正しく処理されないという問題を解消しました。

(2)ブラウザについて

2022年6月16日（日本時間）にサポート終了を予定しているInternet Explorerの代わりに、Microsoft Edgeでの動作検証を行いました。

End

